

科目名	看護の統合と実践				
担当講師名	野辺地 裕子	所属・役職	看護教員	資格・免許	看護師
授業形態	講義・GW・演習	単位数・時間数	1 単位 30 時間	開講年次	3 学年前期
講義の概要	臨床実践に近い形で学習を通して、知識・技術を統合させ、総合的な判断力・実践力を養う。また、医療チームの一員として効果的な看護サービスを提供するための思考力も養う。 演習では2人の患者に対し、看護技術を組み合わせて必要な看護ケアを計画的に実践し突発的事項に対しても対処できる能力を養う。				
到達目標	・多重課題発生時の対応を考え、実践できる。 ・複数受け持ちの患者の優先順位を考えた行動計画の立案ができる。 ・新たな情報収集の結果を踏まえ、計画を修正しながら看護実践ができる。 ・自己の看護実践能力に応じ、チームメンバーと連携しながら状況に応じた看護実践ができる。 ・実践後、患者・看護業務・自己の臨床実践等の視点から分析的に考察することができる。				
講義回数	講義内容			方法	
1 ～ 6	1. 多重課題のクリティカルシンキング			グループワーク 発表	
7 ～ 8	2. 臨床実践に即した技術練習 ・点滴管理 ・薬剤の確認方法 ・予測指示			グループワーク 講義 演習	
9 ～ 15	3. 2人の患者の行動計画立案 ・看護ケアの内容と方法 ・優先度 ・時間管理や調整 ・自己の看護実践能力に応じたチームメンバーとの連携			個人ワーク グループワーク 演習	
教科書等	適宜、資料配布				
成績評価方法	出席、授業参加状況、課題、試験等により総合的に評価する。				
履修上の留意点	既習学習の知識をふまえ授業に臨む。				
特記事項					